

教育センターだより

夏季研修を終えて

南砺市教育センター 所長 高川 芳昭

今年の夏は、かつてない災害級の暑さが日本列島を襲いました。南砺市でも35℃を超える猛暑日は何日も記録され、「猛暑」「酷暑」では片付けられないほどの耐え難い暑さが続きました。9月になってからも気温の高い日が続いていましたが、ここ最近、ようやく過ごしやすくなってきたように感じます。

このように異常ともいえる暑さの中、南砺市教育センター、砺波地区教育センター協議会が主催した夏季研修を受講いただいた先生方、ありがとうございました。そして、研修会場を提供していただき、準備等にご協力くださった学校のみなさまにも心から感謝申し上げます。

開催した9つの研修会への参加延べ人数(南砺市分)は337名にも及びました。どの研修会においても、参加された先生方が、真剣に講義を聴いたり意欲的に演習に取り組んだりしておられました。また、いくつかの研修を3市交流研修会として実施したことにより、南砺市、砺波市、小矢部市の教員が共に学び合い、情報交換する場が増え、よい学びになったのではないかと思います。各研修会で学ばれたことを2学期からの先生方の実践に役立てていらっしゃると思います。

さて、今年度から「教師が自らの研修ニーズと、自分の強みや弱み、今後伸ばすべき力や学校で果たすべき役割などを踏まえながら、必要な学びを主体的に行うこと」を大切にした研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励が実施されました。「学び続けるもののみ教える資格あり」と言われるように、私たち教員は「探究心をもちつつ、自律的に学ぶこと」「主体的に学びをマネジメントしていくこと」が重要であると考えます。

現在、南砺市教育センターでは、砺波市、小矢部市の両教育センターとも協力して、来年度の夏季研修について計画を立てているところです。研修後の振り返りでいただいたみなさまからの声も参考にしながら「学校現場や先生方のニーズに基づく研修」「日ごろの教育活動に生かせる研修」を企画していきたいと考えています。

●NYT(南砺ヤングティーチャー)道場

南砺市内の保・小・中・義務教育学校に勤務されている1～6年目の先生方の中で今年度は約60名が入会されたNYT道場が7月5日、8月25日に行われました。初回の開講式では、松本教育長から激励の言葉をいただき、その後、校種の壁を取り払ってみんなで仲良くなるレクリエーションを行いました。第2回は福光体育館でビーチバレー大会を行い、8つのチームで楽しく活動しました。笑い声が響く中でしたが、激戦が繰り広げられ気持ちのよい汗を流しました。

3回目(閉講式を含む)は10月末の予定です。



市教育センター 協業研修 資質能力向上研修会

- 日時 令和5年7月31日(月) 14:00~16:30
- 会場 南砺市地域包括ケアセンター
- 講師 國學院大學 教授 杉田 洋 先生
- 参加者 47名 砺波地区小・中・義務教育学校教職員
- 内容 「授業、学級経営、生徒指導に生きて働く特別活動

ー 往還的な指導を通して ー

- ・今求められている特別活動の在り方について
- ・特別活動を生かした学級経営や生徒指導等について



<参加者の感想より>

- ・改めて、教師は「人を育てる仕事である」ということを考えさせられた。杉田先生がおっしゃった「みんな何かを必要とされて(教員採用試験を)合格している」「(あなたの)使命があるはず」という言葉も心に残った。今一度考えてみたい。今日の講演を聞き、2学期からの子供への向き合い方、言葉かけを変えていきたいと思う。
- ・特活は、自分で決めて共に追求するもの、みんなで決めて共に追求するものであり、特活を通してインクルーシブな学級づくりを目指すことが重要だと改めて分かった。学校行事を行うにつけても、何をねらいとして行うのか指導するのかを明確にして進めることを、改めて確認していきたい。

市教育センター研修 小学校英語専科教員研修会

- 日時 令和5年8月7日(月) 14:00~16:30
- 会場 南砺市役所
- 講師 西部教育事務所 主任指導主事 川井 祐美 先生
- 参加者 9名 砺波地区小・中・義務教育学校教職員
- 内容

- ・学習指導要領を読み解き、小学校での「外国語科」「外国語活動」の学習の進め方を考える。
- ・中学校との接続に留意した小学校の外国語の授業の在り方、小学校と中学校との連携の仕方を学び、理解を深める。



<参加者の感想より>

- ・改めて学習指導要領を読み込むことの大切さを感じた。新学習指導要領が始まったころはよく開いていたが、最近は、タブレット端末や学習者用デジタル教科書の活用に考えの中心を置いていた。夏休み中に基本に立ち返ることも大切だと思った。
- ・大切なことをたくさん教えていただいたが、特に言語活動と慣れ親しみの活動の関係性や、子供の発話量を重視すること、中学校との連携の方法等が2学期からの取組で生かすことができそうだと感じた。
- ・どの教科にもつながる、「よい授業とは、子供の話す量が多い」「自信をもつと顔を上げる」ということを校内の先生方にもお伝えしたいと思った。

市教育センター研修 プログラミング学習研修会A・B

- 日 時 A：令和5年8月1日(火)・21日(月) 14:00～16:00
B：令和5年8月3日(木)・22日(火) 14:00～16:00
- 場 所 A：福野小学校 B：福光東部小学校
- 講 師 南砺市教育センター ITCE 林 秀次 先生
- 参加者 A18名 B11名 市内小・義務教育学校教職員
(A：5年算数担当、B：6年理科担当)
- 内 容 A：5年算数科「多角形と円をくわしく調べよう」
スクラッチ教材
B：6年理科「電気のはたらき」マイクロビット教材
・教科や単元のねらいの達成とプログラミング的思考の育成



<参加者の感想より>

- ・研修を通して、スクラッチを用いたプログラミング学習で子供に考えさせたいことが分かった。機会があれば、どんどん作図をさせてみたい。
- ・マイクロビットを初めて使用した。様々な指令を出すことができると知り、子供たちが、「やりたい」そして「やり遂げたい」という思いを自然ともてるのではないかと感じた。ただし、機械の苦手な子供や、プログラミング的な思考に慣れていない子供にはスモールステップで教えたりするなど支援が必要だと思う。これからの学習で活用していきたい。

市教育センター研修 南砺市教育講演会

- 期 間 令和5年8月9日(水) 13:30～16:30
- 場 所 井波総合文化センター
- 講 師 ナラティブ・コミュニケーション教育研究所 所長
別府大学 客員教授 佐藤 敬子 先生
- 参加者 市内小・中・義務教育学校全教職員
- 内 容 「“今どき” にアップデートするためのコーチングスキル
～教師を選んだあなたが元気な学校をつくる～」
 - ・20年後も必要な教員の能力とは
 - ・“今どき” の環境と傾向を知る～対応を工夫する～
 - ・コーチングでコミュニケーション
 - ・コーチングのスキル



<参加者の感想より>

- ・言葉にして伝える回数を増やすこと、疑問詞を効果的に使用して質問を工夫すること等、コミュニケーションに必要な要素を学ぶことができた。忙しくても小さな「マル」を子どもたちにつけられるよう、気にかけて。
- ・繰り返し仰っていた「よくみる」「みていれば分かる」という言葉が印象に残った。普段の仕事の中で、どこまで子どもを見られているだろうか…と感じた。2学期からはこれまで以上に些細な声かけを行っていききたい。
- ・「話をきく、のではなく、気持ちを引き」「相手の気持ちは理解できないけれど、理解しようとし続けることが大切」という言葉が心に残った。同僚に対して、心がけていきたい。今回は、チーム担任制を受けて「今どきの同僚間」でのコーチングが話の中心だったと思う。機会があれば、児童生徒・保護者に対するコーチングのより具体的な例を学ぶ機会があればうれしい。

●第19回南砺市小・中学生科学展覧会 開催



- 会場 井波総合文化センター
- 期間 令和5年9月9日(土)～10日(日)
- 出品数 小学校、義務教育学校前期課程 50点(低学年10点、中学年20点、高学年20点)
中学校、義務教育学校後期課程 18点 計68点

子供たちが夏休み中に一生懸命取り組み、まとめた科学作品の中で、各学校から選出された68作品を井波総合文化センターに展示しました。数々のすばらしい作品の中から研究の独創性、追究意欲やその過程、記録、考察やまとめる力等を審査し、優秀賞10点、優良賞14点が選ばれました。9日には、優秀賞に選ばれた10名の児童生徒の皆さん一人一人に松本教育長より賞状が渡されました。

展示会場には、2日間で300人以上の方が訪れ、一つ一つの作品に見入っておられました。

優秀賞に選ばれた10点の内5点が、10月19日(木)～23日(月)に富山市科学博物館で行われる第82回富山県科学展覧会に出品されます。



< 表彰式の様子 >



< 作品展示の様子 >

各種委員会の取組についてお知らせ

小学校理科資料委員会

- ・5年理科資料「流れる水のはたらき」の改訂に向けて、夏に現地に足を運び写真や動画の資料収集を行いました。現在は、印刷に向けて校正を行っています。

体力づくり委員会

- ・体力づくりの課題に対して、力を付けるための運動の実践例を動画撮影しています。
- ・今後、体力調査報告書(事例集)を作成します。

ICT推進委員会

- ・発達段階に応じた南砺市版情報活用能力の指標の作成、「遠隔協働学習」に関わる取組、情報モラルについての取組の3部会に分かれて取り組んでいます。11月に富山大学の教授長谷川春生先生をお招きし、取組について助言をいただきます。

今後の研修のお知らせ

学力向上研修会(2学期の予定)

若手の先生による公開授業と事後研修会を通して、子供の発言の捉え方や授業の見方について研修を深めます。若手の先生に限らず、多数の参加をお待ちしています。

【日時・会場】

- ・10月17日(火) 城端中学校
- ・11月21日(火) 城端小学校
- ・11月28日(火) 福野中学校
- ・12月7日(木) 福光中学校

【コーディネーター、指導助言者】

南砺市教育委員会
教育長 松本 謙一 先生